



### 山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
URL:http://www.mokusankyo.com  
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 目 1 林業労働安全大会を開催 | 4 人工乾燥材生産状況     |
| 2 県産木製品の常設展示等   | 5 お知らせ・会議・イベント等 |
| 次 3 白鷹町庁舎等設計者決定 | 6 7 月期住宅着工状況    |



## 1 第1回山形県北部林業労働安全大会開催される!!

8月6日(木)、真室川町「イベントハウス遊楽館」を会場に、標記林業労働安全大会を開催したところ、炎天にも拘らず、木産協傘下の素材生産関連組合員のうち、庄内、最上、北村山地方の組合員並びに従業員等、17事業体、約100名が参加した。

この取り組みは、県内で林業労働災害が多発している中で、重大労災発生の防止を継続している木産協組合員の、年度後半の安全を確保するため、組合員の自主的申し出により、初めて実施されたもので、参加者の真剣な態度が印象に残った。



開会に先立ち、低頭し「お祝い」を受ける組合員等

また、御来賓や講師として、山形県議会議員で森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟幹事長の小松伸也氏、山形森林管理署最上支所長の多田弘之氏、最上総合支庁森林整備課長の藤井博喜氏、新庄労働基準監督署労災・安衛課長の高橋健一氏にご参列を頂いている。

大会では新庄戸澤神社神主様より神事が執り行われた後、遠田勝一副理事長より開会宣言が発せられ、主催者として阿部昭理事長から本大会の意義等について挨拶があった。

その後、上記4名のご来賓挨拶の後、新庄労働基準監督署の高橋課長から「林業における労働災害防止について」、山形森林管理署の多田最上支所長から「森林・林業・木材産業の動向」の演題でご講話をいただいた。さらに高性能林業機械の安全操作に関するDVD上映を行い、最後は、(有)小関興業の若手職員小関大祐君の音頭の下に、全員で安全スローガンを唱和し、佐藤久一理事の御礼の挨拶で閉会した。

また、夕刻からは懇談会が開催され、活発な情報交換が行われる等、有意義な安全大会となった。今回は北部中心の大会となったが、今後、県中央部、南部地区の組合員も是非取り組んでいただきたい。

### 平成 27 年度の安全スローガン

「あなどるな 慣れに 過信に 潜む ワナ !!」

「ストレスと 疲れは溜めずに リフレッシュ !!」

## 2 「県産木製品の常設展示会」を実施!!

8 月 17 日~22 日にかけて、イオンモール三川(三川町)を会場に、山形県産木製品の常設展示と、最終日に「テツ&トモ」が勧める「木のある暮らしフェスティバル」を実施し、期間中、大勢の県民の皆様から注目を集めた。

この取り組みは、今年度林野庁事業を活用し実施しているもので、若い客層が多い郊外ショッピングセンターを会場に、組合員のご協力の下に、一定期間、身近な木製品の紹介や、人気コメディアンを活用した「木のある暮らし」のイベントを行い、県産木製品への理解の深化と販路開拓を目指したものである。



巨大昆虫模型と遊ぶ子供たち

### (1) 常設展示内容(6 日間)

	協力組合員等	出 展 内 容(展示のみでありパンフレット等を配布)
1	たくみまさの	パーゴラ(スギ間伐材を丸棒加工した部材による六角形藤棚)
2	柿崎製材所	木製積み木(金山杉を加工した木育用積み木)
3	アイタ材木店	床材(県産木材による、針・広葉樹フローリング)
4	シェルター	耐火集成材(高層建築物建設可能な木質材料)、三次元プレカット製品
5	東北クネット	スギ集成材曲線加工手摺(天童木工製作)
6	M 木工	クロマツ木工品(身近な生活用品、組み絵パズル等)
7	山本製作所	ペレットストーブ
8	栗田広行氏	巨大木製昆虫模型(スギ元玉を活用したチェンソーアート)※全日本チャンプ
9	山形工房	競技用ケン玉(生産日本一の長井市のケン玉)

### (2) 「テツ&トモ」が勧める「木のある暮らしフェスティバル」

最終日の 22 日(土)には、イオンモール三川の全面のご協力の下に、同会場にて、人気コメディアン「テツ&トモ」による県産木製品の PR イベントを行い、大勢の県民の皆様にお楽しみいただくと共に、木材が身近にある生活の素晴らしさを体感していただくことが出来た。

阿部理事長の主催者挨拶のあと、イオンモール三川 GM 鈴木一磨氏への金山杉ベンチ 4 脚の贈呈、長井ケン玉プロジェクトメンバーによるパフォーマンスと子供たちを対象としたケン玉教室、「テツ&トモ」のお笑い演奏と木製品が貰えるジャンケン大会等のお楽しみがあり、大いに盛り上がった。

この流れを、8 月 31 日から 9 月 6 日までの、イオンモール山形南における「常設展示会」に繋げていきたい。



盛り上がる「木のある暮らしフェスタ」

### 「テツ&トモ」の替え歌の一節

- なんてだろう なんてだろう なぜだなんてだろう  
庄内地方には、クロマツ林が多いのは なんてだろう  
昔の人たちが、財産をつぎ込み 一生懸命に 植えてきたからのさ。
- なんてだろう なんてだろう なぜだなんてだろう  
庄内地方には、災害が少ないのは なんてだろう  
クロマツ林が、風や砂から町や畑を 守ってくれているからのさ。等

### 3 白鷹町役場等建替えの建築設計プロポーザル審査会開催される。

#### (1) プロポーザル概要と決定業者

8 月 22 日(土)に、白鷹町複合施設等の基本設計者選定に関する 2 次審査会が(公開)開催され、設計委託先として「環境デザイン研究所」(本社:東京都)が決定した。

白鷹町は、現在の役場庁舎及び中央公民館の老朽化や耐震診断等から、建て替えの必要性があることや、西置賜行政組合消防署白鷹分署の改築時期も重なったことから、効果的、効率的行政サービスの観点で、庁舎等再配置計画を策定し、基本的な方向を整理してきた。

これらを踏まえ、どの事業者に設計業務を委託するかについて、公募型プロポーザル方式により選定することにしたものである。

選出の方法は、町が組織する審査委員会による 2 段階方式で、審査結果は町の公式 HP に掲載する。1 次審査では木造施設設計の実績評価や業務受託時の技術者等の体制を判断し、3~4 社を選定する。2 次審査では、課題に対する提案の適格性・独創性・現実性、実施方針の妥当性、取り組み意欲等を総合的に判断し、最優秀提案者及び次点提案者を選定する。尚、2 次審査では、公開の場でのプレゼンテーション(1 件 15 分程度)、ヒアリング(1 件 15 分程度)を実施し、公開審査には町内外から 50 名を超す見学者があった。

#### (2) 課題提案の中で木材に関する部分

ア 大規模木造の工法と他の工法の取り入れ方及び防火に関する考え方

イ 地域の林業、製材業、建設業の活用と地域材調達における考え方

の 2 つの項目が設定されており、具体的には、

① 白鷹町産木材を使用した木造施設であること

② できる限り「ムク材」(一般製材品)を使用した設計とすることを要請している。

注) アに関して、建築基準法の改正により、27 年 6 月 1 日より、3,000m<sup>2</sup> を超える建築物でも、3,000m<sup>2</sup> ごとに耐火性の高い壁等で区画することで耐火構造等以外の建築物とすることができることになり、大型の木造建築物が建てやすくなっている。

#### (3) 提案された木材に関する部分

ア 執務室・図書館等はラーメン構造とし、2 階床梁は重ね透かし格子梁とし、梁成を利用して空調機器等を配置し、この空間を設備ルートにする

イ 大スパンの屋根架構については、杉製材の定尺物を活用し、平面トラスとし、これらは庁舎利用者の視界を遮らない様に、下弦材を中央で折った、シサーストラスとし、大空間を演出する。

ウ 各棟を 1,000m<sup>2</sup> 以下の別棟とし、耐火規制がクリアする設計とし、さらに JAS 製材に限定されないことから、町内の製材業界も参加しやすくなるとしている。

エ 設計初期の段階で、木材供給者、加工者、設計者等でワークショップを開催し、地域の特徴等を反映させる。また、木質バイオマス等の再生可能エネルギーを活用する等。

#### (4) 木産協としての対応 (※最下段のフレーズは「森林技術」より転載)

今回の白鷹町の複合施設建設には製材品を 1 千数百 m<sup>3</sup> 使用するといわれているが、町内の製材業界は弱体であり今後早急に立て直しを図る必要がある。また、周辺市町における協力体制等も同時に確立する必要がある。国交省営繕部のまとめた「公共建築物の木造計画設計基準」では、構造用製材には JAS を用いることを求めていることから、「品質性能」の保証された JAS 製材品の使用について、役場当局に強力に働きかけて行くと共に、業界としても、それら JAS 製材品(特に乾燥材)の安定供給体制の確立が喫急の課題である。

※「公共建築物の構造材料の強度がはっきりしなくて良いはずはありません。

文明国では構造用に規格の無い木材の使用を許している国は無いと言われています。」

## 4 人工乾燥材生産状況 (平成 26 年度)

人工乾燥材生産施設の整備の検討が始まる等、乾燥材を巡る状況が大きく変化しようとしている。この度 26 年度の実績調査の概要がまとまったので報告する。

対象工場は人工乾燥等を実施している 22 社。(4 社は天然乾燥のみ)

### (1) 乾燥材生産量 (国産材)

区 分	乾燥材全生産量	内人工乾燥材	内天然乾燥材	摘 要
H26 年度 (m <sup>3</sup> )	20,776	17,669	3,750	
前年比 (%)	108	116	94	

※ 自社製材品は全体で、59,597m<sup>3</sup> であり、乾燥は自社製材品を中心に行われたと考えると、割合は 35%程度であり、昨年度と同水準であった。(他の購入製品は 20,925m<sup>3</sup>)

※ 乾燥材は着実に増加しているものの、最大生産工場のシェアが大きく拡大する一方で、住宅着工の減等と連動している減少するところもあり、集中化が進む結果となっている。

### (2) 出荷している材の平均含水率

区 分	人工乾燥材			天然乾燥材		
	構造用	造作用	下地用	構造用	造作用	下地用
件 数	17	18	19	16	18	17
平均含水率 (%)	22 (21)	17 (17)	18 (19)	25 (24)	20 (20)	24 (23)

※ 全体的に人工乾燥材の含水率が低い傾向にあり、所定の含水率まで落とす方法として適していると考えられる。構造材は 20%以下が望ましい。( ) は昨年度の平均含水率。

### (3) 人工乾燥室 1 室あたりの年間平均生産量

年 度	乾燥室総数	1 室あたりの平均生産量	摘 要
H24 年度	32	455 m <sup>3</sup>	
H25 年度	33	481 m <sup>3</sup>	
H26 年度	36	490 m <sup>3</sup>	

※ 乾燥材生産の需要増に伴い、1 室あたりの稼働も増加傾向にある。また、自社乾燥から委託乾燥への変更や、大規模工場の施設増強等があり、構造の変化が急ピッチである。

※ 全ての製材工場における乾燥施設の設置には、品質確保要員の配置や稼働上の課題があり、施設の集中運用等の方法を検討すべき時期にある。

### (4) その他

ご多忙の中、調査にご協力いただいた工場各位に御礼申し上げます。この調査は、毎年実施し、乾燥材生産に関する状況や課題を探り、解決にむけた基礎資料として活用されるものです。人工乾燥施設等を有し、積極的にご協力いただける事業者がありましたら木産協までご一報下さる様お願いします。

現在、本調査等に協力いただいている事業者の中で、木材業界の果たす役割に関して意識の高い方を中心に、避けることのできない課題として、県木材製品の品質向上を目指す取り組みが全県レベルでスタートしています。

国交省等の公共施設建設材料に明確に JAS が位置づけられる中、本県では特に、乾燥 JAS 製材への志向が一段強くなっており、大きな転換の年となりそうである。



## 5 お知らせ、会議・イベント等

### (1) 原木安定供給会議

日時：平成 27 年 9 月 1 日 (火) 14 時半～

会場：山形国際ホテル

内容：先進地の情報提供 (遠藤日雄氏)、県産木材の生産・供給の現状と課題等  
阿部理事長及び専務理事が出席予定

### (2) 全木連東北ブロック支部総会

日時：平成 27 年 9 月 2 日 (水)～3 日 (木)

会場：福島県いわき市

内容：H26 年度事業報告・収支決算、H27 年度事業計画・収支予算、意見交換等  
阿部理事長及び専務理事が出席予定

### (3) 県産木製品の常設展示と「テツ&トモ」がすすめる木のある暮らしフェスタ

県産木製品を身近に感じていただくために、県内の特徴ある木製品を常設展示すると共に、人気コメディアンがすすめる「木のある暮らし」フェスティバルを開催する。

日時 平成 27 年 8 月 31 日 (月)～9 月 6 日 (日)

会場 イオンモール山形南 催事場 (9 月 5 日まで 2 階、9 月 6 日は 1 階)

※「テツ&トモ」イベントは、9 月 6 日 13 時頃から。巨大木製昆虫模型、木育用積み木体験、けん玉パフォーマンスや「テツ&トモ」との「じゃんけん大会」の景品もあるよ。

※ 組合員の皆様は、お取引先をお誘いの上ご参加くださいます様お願い致します。

### (4) 平成 27 年度合法木材認定団体研修会

日時：平成 27 年 9 月 7 日 (月) 13 時～

会場：東京都新木場「木材会館」(専務理事等が出席予定)

### (5) 広域原木流通会議

日時：平成 27 年 9 月 10 日 (木) 13 時～

会場：盛岡市 ホテル東日本盛岡 13 時～

内容：素材生産や製品等に関する需給状況等について (専務理事が出席予定)

### (6) 合法木材研修会

標記認定期間 (3 年) が経過し、再認定を受けようとする事業者及び新規認定を受ける事業者は、必ず担当者を出席させて下さい。合法木材認定事業者の資格が必要でない方は受講する必要はありません。

日時：平成 27 年 9 月 17 日 (木) 13 時半～

会場：山形市内 ホテルキャッスル会議室

内容：ア 合法木材の実務 (木産協)

イ 合法木材巡る状況 (講演会：筑波大学准教 立花 敏氏)

その他：受講料 3,000 円/一人 (認定書授与)

(なお、自己啓発のため、講演会のみ参加の方は 2,000 円/一人です。認定書無し。)

## 《 必 見 》

### (7) 山形県の木材産業 PR の TV 番組放映 (YBC)

日時：平成 27 年 9 月 26 (土) 15 時～(30 分番組)

内容：巨木伐採の修祓式、宮城県での県産木材販売のプロモーション、製材加工、チェーンソーアート、木材の高度加工、木材市場・プレカット等体験バスツアー、建築匠の技、大規模公共木造施設建築状況等を編集放映。(関係者が大勢登場します)

## 6 7 月期の住宅着工状況

7 月期は 511 戸で対前年比 140%、うち持家は 289 戸で 142%、貸家は 174 戸で 140%、分譲は 42 戸で 120%、木造率 84%、累計比 (1~7 月) 2,992 戸で 117%と好調を継続。先日の「木づかいキャラバン」(東北で唯一山形市で開催)の講演内容のとおり、これからの住宅着工の変化や非住宅分野への展開なども熟考すべき時。

### 1 県内新設住宅着工戸数(平成 27 年 7 月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22 年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23 年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24 年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25 年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26 年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
26.1~6	2,200	1,279	661	74	186	2,093	107	1,804		1,390	630	351
7 月	364	204	124	1	35	316	48	300	82.4%	212	13	75
8 月	361	223	90	3	45	357	4	305	84.5%	245	7	53
9 月	377	203	127	0	47	358	19	332	88.1%	223	5	104
10 月	395	199	144	3	53	384	11	353	89.4%	227	7	119
11 月	465	238	179	2	46	445	20	377	81.1%	261	7	109
12 月	388	183	180	0	25	382	6	326	84.0%	194	4	128
27.1 月	249	125	74	0	50	248	1	203	81.5%	141	8	54
2 月	367	194	124	0	49	364	3	297	80.9%	166	13	118
3 月	366	278	62	1	25	363	3	343	93.7%	262	14	67
4 月	452	302	105	1	44	446	6	425	94.0%	288	11	126
5 月	471	313	102	0	56	465	6	417	88.5%	330	11	76
6 月	576	358	123	1	94	574	2	448	77.8%	322	15	111
7 月	511	289	174	6	42	507	4	431	84.3%	305	7	119
対前月	88.7%	80.7%	141.5%	600.0%	44.7%	88.3%	200.0%	96.2%	-	94.7%	46.7%	107.2%
対前年同	140.4%	141.7%	140.3%	600.0%	120.0%	160.4%	8.3%	143.7%	-	143.9%	53.8%	158.7%
26.1~当	2,564	1,483	785	75	221	2,409	155	2,104	82.1%	1,602	76	426
27.1~当	2,992	1,859	764	9	360	2,967	25	2,564	85.7%	1,814	79	671
対累計前	116.7%	125.4%	97.3%	12.0%	162.9%	123.2%	16.1%	121.9%	-	113.2%	103.9%	157.5%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(平成 27 年 7 月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	511	2,992	140.4%	116.7%	2,564
山形市	100	809	95.2%	113.6%	646
上山市	16	63	133.3%	161.5%	61
天童市	34	221	125.9%	108.9%	196
山辺町	6	43	31.6%	87.8%	41
中山町	3	28	300.0%	280.0%	28
東南村山	159	1,164	97.0%	114.9%	972
寒河江市	25	148	227.3%	205.6%	115
河北町	5	49	38.5%	128.9%	44
西川町	5	6	-	42.9%	6
朝日町	3	7	-	33.3%	6
大江町	0	13	0.0%	100.0%	13
西村山郡	38	223	146.2%	141.1%	184
村山市	10	63	1000.0%	262.5%	61
東根市	54	250	317.6%	166.7%	217
尾花沢市	1	15	-	136.4%	13
大石田町	2	33	-	825.0%	8
北村山	67	361	372.2%	191.0%	299
村山地	264	1,748	126.9%	128.5%	1,455
新庄市	7	61	58.3%	103.4%	59
金山町	1	5	-	166.7%	5
最上町	2	3	200.0%	100.0%	3
舟形町	1	5	-	55.6%	5
真室川町	0	6	-	100.0%	6

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累
大蔵村	0	4	0.0%	57.1%	4
鮭川村	1	3	-	-	3
戸沢村	0	3	0.0%	150.0%	3
最上地域	12	90	80.0%	101.1%	88
米沢市	51	334	137.8%	137.4%	259
南陽市	29	94	170.6%	125.3%	91
高島町	13	42	325.0%	105.0%	41
川西町	1	15	33.3%	41.7%	15
東南置賜	94	485	154.1%	123.1%	406
長井市	8	77	53.3%	70.6%	64
小国町	3	6	-	75.0%	6
白鷹町	8	26	400.0%	173.3%	25
飯豊町	3	7	75.0%	41.2%	7
西置賜	22	116	104.8%	77.9%	102
置賜地域	116	601	141.5%	110.7%	508
鶴岡市	43	250	238.9%	91.2%	243
三川町	0	10	0.0%	90.9%	10
庄内町	6	30	150.0%	57.7%	30
田川	49	290	213.0%	86.1%	283
酒田市	69	247	215.6%	134.2%	215
遊佐町	1	16	25.0%	31.4%	15
飽海	70	263	194.4%	111.9%	230
庄内地域	119	553	201.7%	96.7%	513

注:累計は平成 27 年 1 月~